

小高坂小学校北舎防水改修工事

図面リスト

図面リスト			
AT-01	改修特記仕様書(1)	A-01	付近見取図、配置図兼仮設計面図
AT-02	改修特記仕様書(2)	A-02	屋上伏図
		A-03	屋上断面詳細図、各部詳細図
		A-04	【参考図】1～4階 平面図
		A-05	【参考図】立面図

小高坂小学校北舎防水改修工事 特記仕様書

I 工事概要
1. 工事場所 高知市新屋敷1丁目11番5号
2. 工事種目 【北舎】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積1,824㎡ 防水改修 一式
3. 関連工事等
4. 概成工期
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)
II 建築工事仕様
1. 特記仕様
2. 適用基準等
3. 「週休2日制工事」の実施について
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について

項目 特記事項
一般共通事項
1. 工事実績情報サービス(CORINS)への登録
2. 総合工程表
3. 総合図
4. 工事日誌
5. 工事写真
6. 下請負者の報告
7. 電気保安技術者
8. 施工条件
9. 交通誘導警備員

項目 特記事項
10. 工事安全計画書
11. 統括安全衛生管理義務者の指名
12. 発生材の処理
13. 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出
14. 工事の保険
15. 契約保証
16. 前払金支出割合区分補正
17. 証明書の提出(グリーン購入法)
18. 石綿含有建材の調査

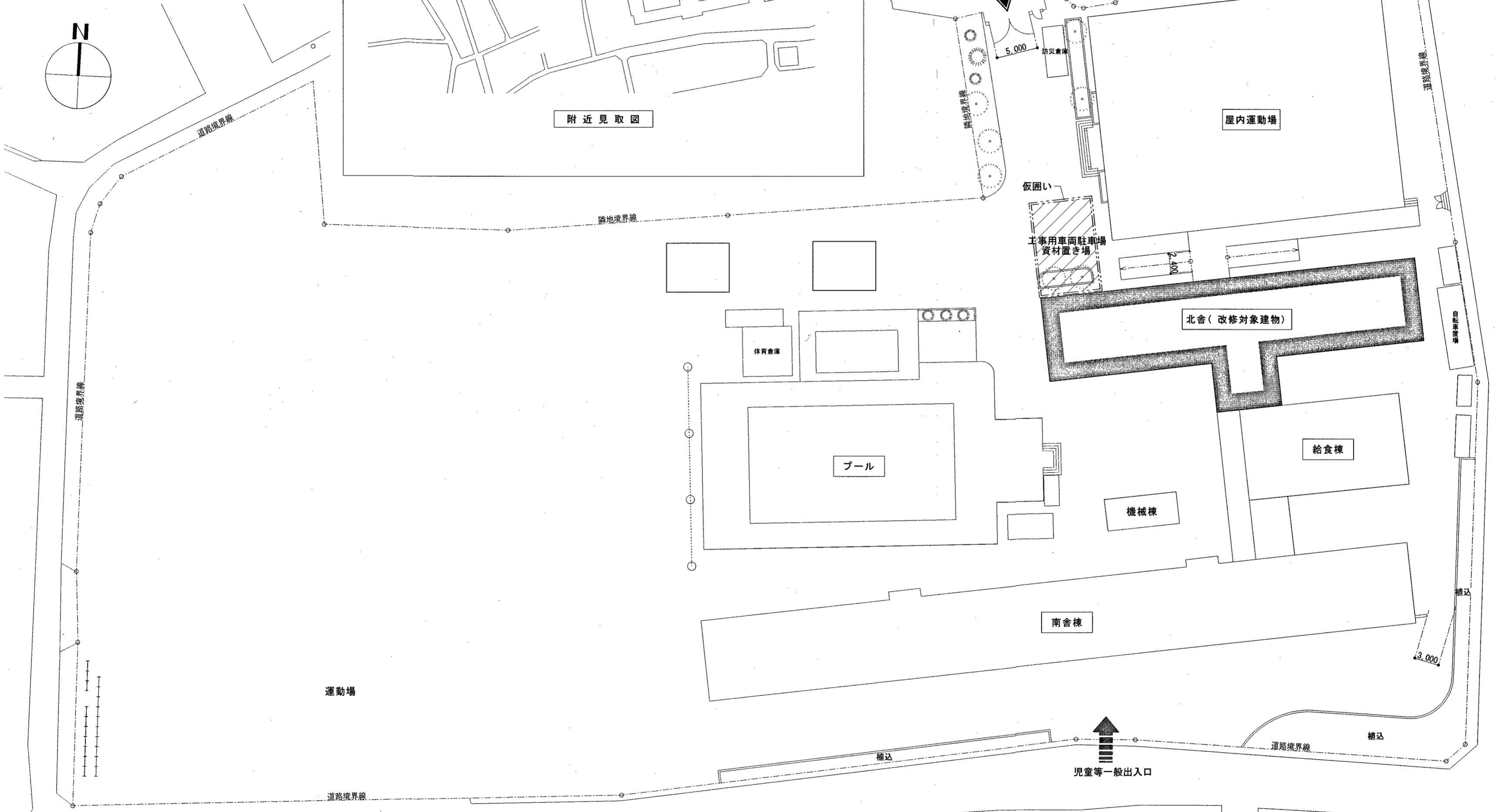
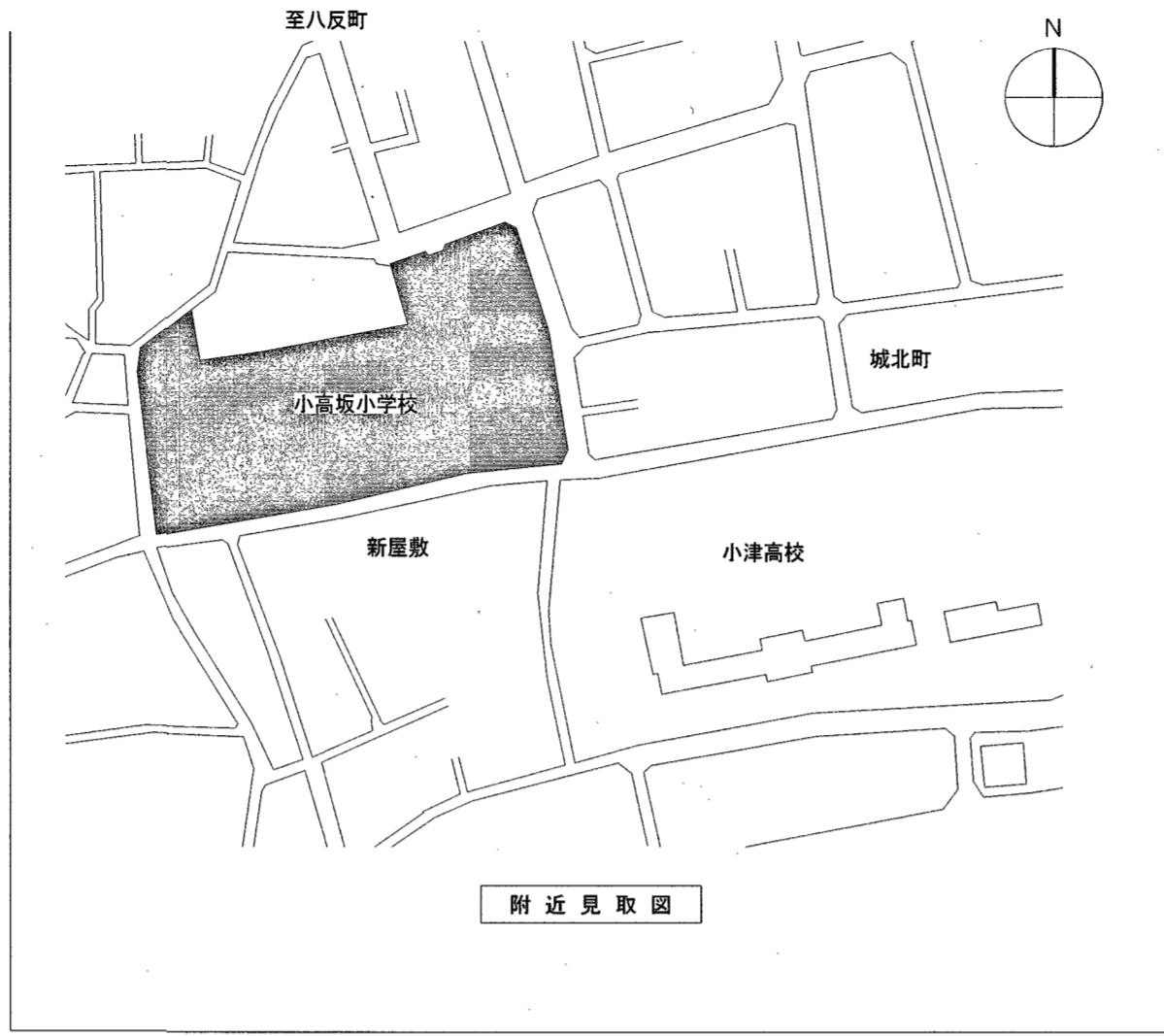
項目 特記事項
19. 施工数量調査
20. 技能士及び技能資格者
21. 化学物質の室内濃度の測定
22. 直接仮設の養生
23. 建築材料等
24. 特別な材料の工法
25. 風圧力
26. 仕上面の出隅処理

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																												
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><th>備品の種類</th><th>機・椅子</th><th>書棚</th><th>黒板</th><th>PC</th><th>掛時計</th></tr> <tr><td>数</td><td>量</td><td>組</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>温度計</th><th>ゴム長靴</th><th>雨がっぱ</th><th>保護帽</th><th>懐中電灯</th></tr> <tr><td>数</td><td>量</td><td>個</td><td>足</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>衣類ロッカー</th><th>冷暖房機器</th><th>消火器</th><th>湯沸器</th><th>加入電話付風器</th></tr> <tr><td>数</td><td>量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td></tr> <tr><th>備品の種類</th><th>掃除具</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数</td><td>量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数	量	組	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数	量	個	足	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付風器	数	量	人用	台	個	台	備品の種類	掃除具					数	量	個				④ 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2</td><td>図示</td><td>※2成分形77kg/リソ樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・77kg/リソ樹脂系</td><td>○</td><td>改修用D/W ・設ける ○設けない</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>保護層 ・設ける ・設けない</td></tr> </table>	種類	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考	・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形77kg/リソ樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・77kg/リソ樹脂系	○	改修用D/W ・設ける ○設けない					保護層 ・設ける ・設けない																													
備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																												
数	量	組	枚	台	個																																																																																												
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																												
数	量	個	足	個	個																																																																																												
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付風器																																																																																												
数	量	人用	台	個	台																																																																																												
備品の種類	掃除具																																																																																																
数	量	個																																																																																															
種類	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																													
・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形77kg/リソ樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・77kg/リソ樹脂系	○	改修用D/W ・設ける ○設けない																																																																																													
				保護層 ・設ける ・設けない																																																																																													
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td></td><td>※1部・部</td><td></td></tr> </table>	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド		※1部・部		⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない	⑤ シーリング	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの [3.6.3]																																																																			
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																																																																																													
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																																																																													
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																																																																													
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																																																														
・	スライド		※1部・部																																																																																														
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑦ 仮囲い	※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	⑥ とい	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレッカー張り ・エッジング材張り ・適用する ・適用する [3.7.7]																																																																																												
③1 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境界は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	⑧ 仮設物撤去後の整地・砕片付け	※図示	⑦ シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による)																																																																																													
③2 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	① 防水改修工事	※図示	⑧ アルミニウム製窓木	シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td><td>※10以上 ○図示</td></tr> <tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※10以上 ○図示</td></tr> </table>	箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上 ○図示	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上 ○図示																																																																																
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																														
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上 ○図示																																																																																														
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上 ○図示																																																																																														
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	② 既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、バラベットの、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による	⑨ 保証書(シーリング除く)	材料 [3.8.2][表3.8.1] <table border="1"> <tr><th>材種</th><th>寸法</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(HP-VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※軒どい・たてどい</td></tr> </table>	材種	寸法	施工箇所	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(HP-VP)		※たてどい	・硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい・たてどい																																																																																
材種	寸法	施工箇所																																																																																															
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																																																																															
・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(HP-VP)		※たてどい																																																																																															
・硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい・たてどい																																																																																															
③4 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	③ 合成高分子系ルーフィングシート防水	③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・POS ○S4S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td>改修用D/W ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・S3S ・M4S</td><td>・S-M1</td><td>図示</td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>○S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・S4S ・M4S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td>改修用D/W ・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1S</td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td>改修用D/W ・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1S</td><td>・SI-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td>改修用D/W ・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・SI-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1S</td><td>・SI-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・SI-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td>立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS ○S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける	・S-F2		※2.0 ・1.5			・設けない	・S3S ・M4S	・S-M1	図示	※1.5	※製造所の仕様による	○		○S-M2		※1.5				・S4S ・M4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない	・S-F2		※2.0 ・1.5			・設けない	・P1S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない	・S-M2		※1.5			・設けない	・P1S	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない	・SI-F2		※2.0 ・1.5			・設けない	・P1S	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			・SI-M2		※1.5				・P1S	・S-C1		※1.0			立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm	⑨ 高日射反射率塗料塗り	高日射反射率塗料塗り [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																											
・POS ○S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける																																																																																											
	・S-F2		※2.0 ・1.5			・設けない																																																																																											
・S3S ・M4S	・S-M1	図示	※1.5	※製造所の仕様による	○																																																																																												
	○S-M2		※1.5																																																																																														
・S4S ・M4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない																																																																																											
	・S-F2		※2.0 ・1.5			・設けない																																																																																											
・P1S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない																																																																																											
	・S-M2		※1.5			・設けない																																																																																											
・P1S	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による		改修用D/W ・設ける ・設けない																																																																																											
	・SI-F2		※2.0 ・1.5			・設けない																																																																																											
・P1S	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による																																																																																													
	・SI-M2		※1.5																																																																																														
・P1S	・S-C1		※1.0			立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm																																																																																											
	仮設工事(改修)	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※ 図示 材料、撤去材の運搬方法 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>材料</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td>機械的固定工法</td><td>JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td>接着工法</td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号</td><td>・ 図示</td></tr> </table>	工法	材料	厚さ	機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示	接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの																																																																																			
工法	材料	厚さ																																																																																															
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示																																																																																															
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示																																																																																															
① 足場その他	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※ 図示 材料、撤去材の運搬方法 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)	④ 養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの																																																																																													
② 養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの	④ 養生	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの																																																																																													
3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 A種、B種の場合 仕上りの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm 合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・ 図示	④ 養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの																																																																																													
④ 監督職員事務所	・設ける (m程度) ※設けない	④ 養生	○ 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	③ 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] S-M2及びPSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ1.5mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ○行う(範囲:図示) ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ○行わない POS工法及びPOS I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの																																																																																													





■凡例
 = = = 仮囲い: ガードフェンス H=1800程度
 ▲ 工事車両出入口を示す

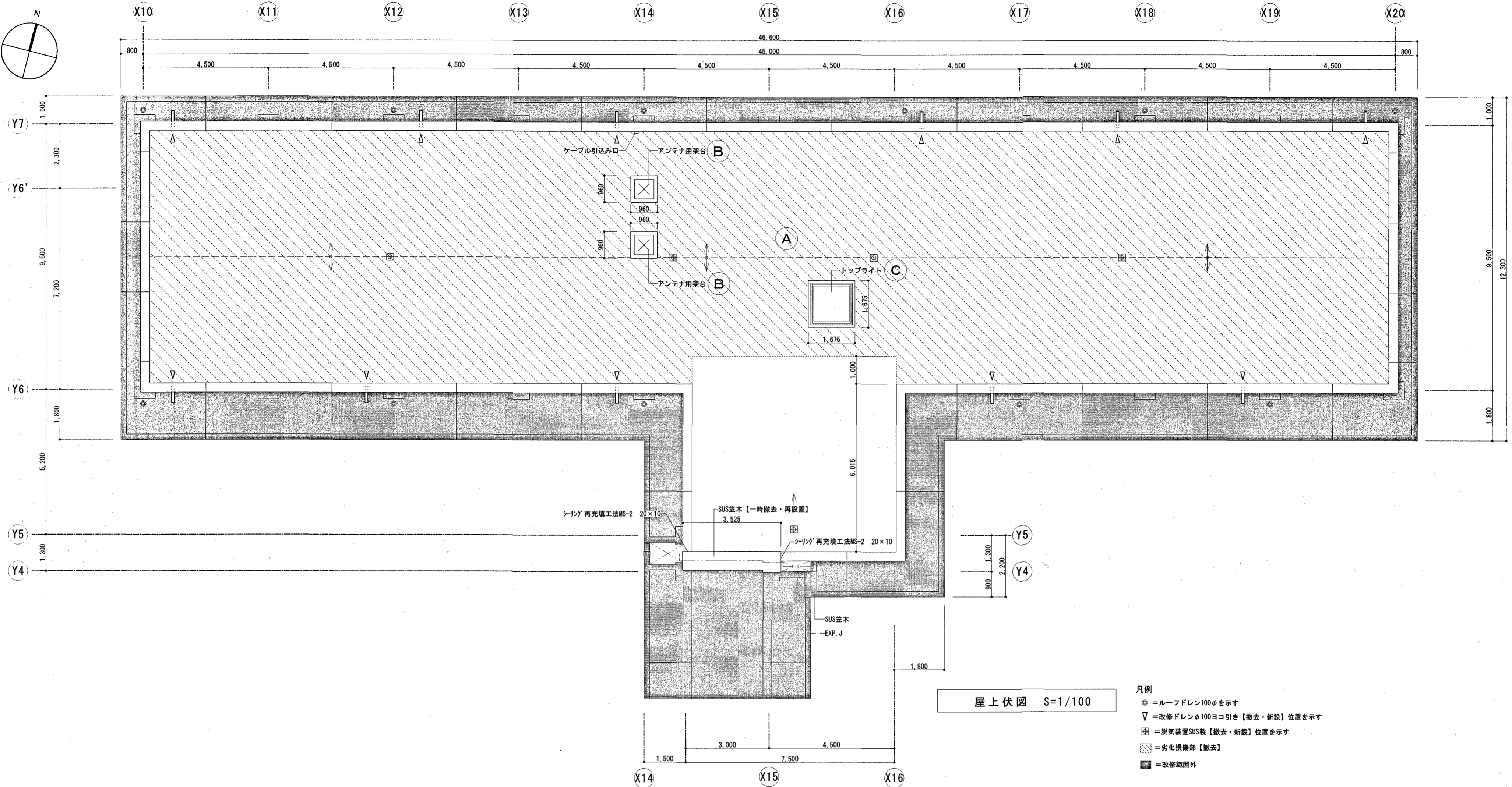
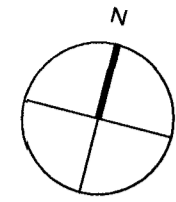
■施工条件、安全対策など
 ※下記の日時は、作業を禁止する。
 なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。
 ・5/23 AM ・6/10 PM ・6/18 PM ・7/15 PM ・7/16PM

 ※昇降足場は、仮囲い内に設けること



配置図兼仮設計計画図 S=1/400

A2→A3縮小71%	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係 係長 課長補佐 課長 図面番号
		小高坂小学校北舎防水改修工事	    A-01
		図面名 附近見取図、配置図兼仮設計計画図 縮尺 図示	作図 R8年 3月 日



屋上伏図 S=1/100

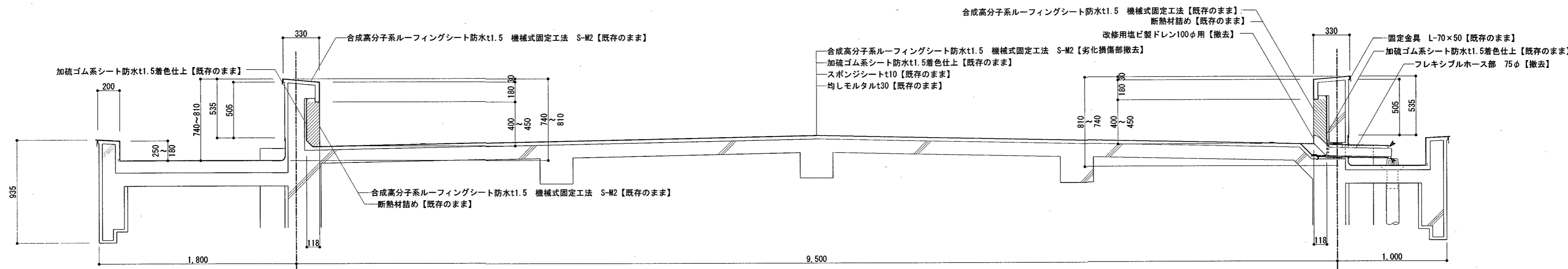
- 凡例
- φ = ルーフドレン100φを示す
 - ▽ = 改修ドレンφ100ヨコ引き【撤去・新設】位置を示す
 - ⊕ = 脱気装置SUS製【撤去・新設】位置を示す
 - ▨ = 劣化損傷部【撤去】
 - = 改修範囲外

	改修前		改修後
	建設時	前回改修時 (H23年)	
A	平場: 均しモルタルt=30 スパングt=10 加硫ゴム系膜フックシート防水【既存のまま】 立上り: 加硫ゴム系膜フックシート防水【既存のまま】	平場: 合成高分子系膜フックシート防水 S-M2 t=1.5【劣化損傷部撤去】 立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-M2 t=1.5【既存のまま】 断熱材詰め【既存のまま】	平場、立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-M2 t=1.5 高日射反射率塗料塗り【新設】
B	防水モルタル【既存のまま】 立上り: 加硫ゴム系膜フックシート防水【撤去】	FRP防水【撤去】 立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-F2 t=1.5【撤去】	水洗い ポリマーセメントペースト塗り 塗膜防水 高日射反射率塗料塗り【新設】 立上り: 水洗い ポリマーセメントペースト塗り【新設】 合成高分子系膜フックシート防水 接着工法 t=1.5 高日射反射率塗料塗り【新設】
C	防水モルタル【既存のまま】 立上り: 加硫ゴム系膜フックシート防水【既存のまま】	立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-F2 t=1.5【撤去】 立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-M2 t=1.5【既存のまま】 断熱材詰め【既存のまま】	水洗い ポリマーセメントペースト塗り 合成高分子系膜フックシート防水 接着工法 t=1.5【新設】 高日射反射率塗料塗り【新設】 立上り: 合成高分子系膜フックシート防水 S-M2 t=1.5 高日射反射率塗料塗り【新設】

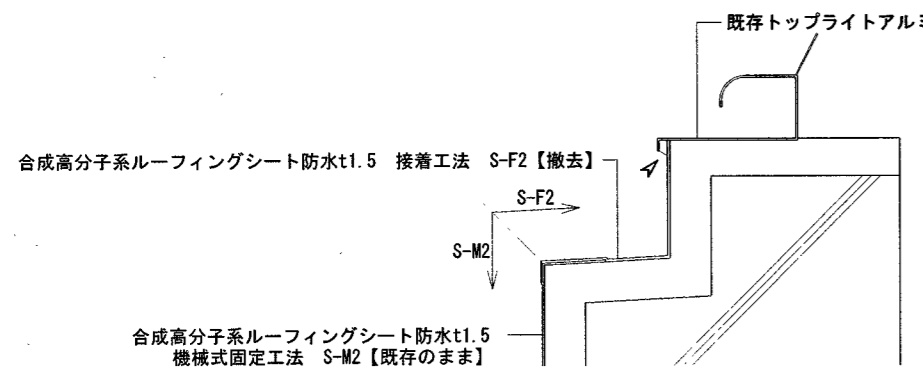
A2→A3縮小71%

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	小高坂小学校北舎防水改修工事				係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	屋上伏図	縮尺	図示	作図	R8年	3月	日	A-02

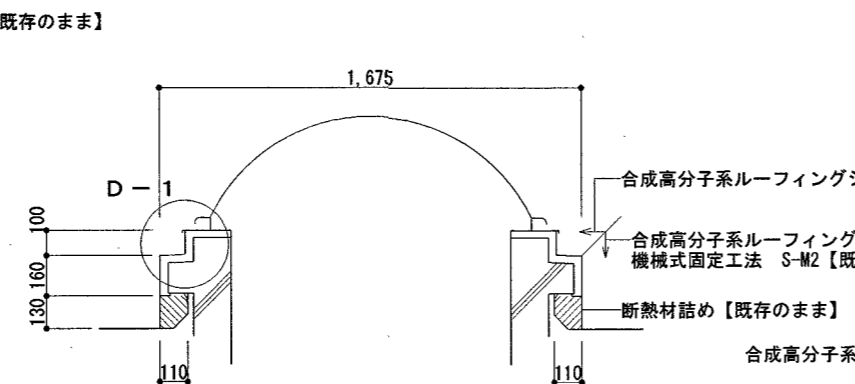


屋上断面詳細図 S=1/30

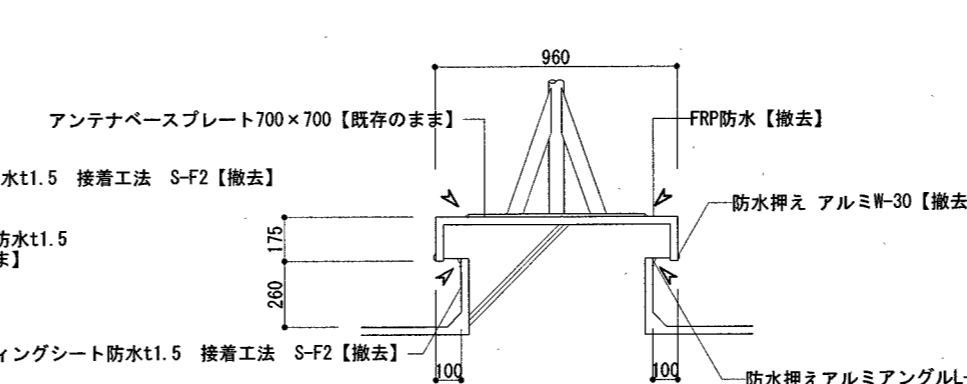


D-1部分詳細図 S=1/6

イ: シーリング(MS-2)20×10【撤去】を示す

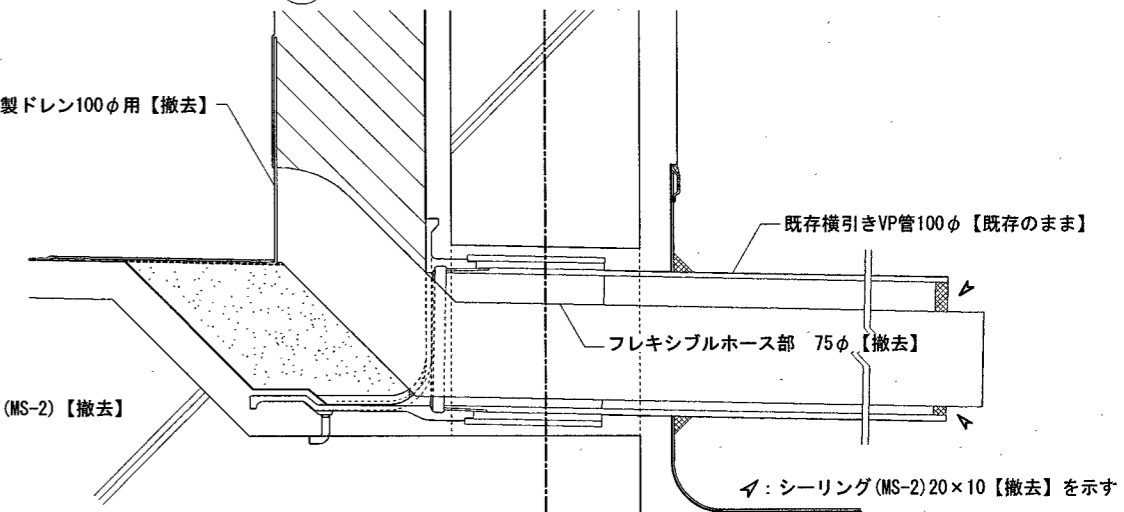


トプライト詳細図 S=1/30

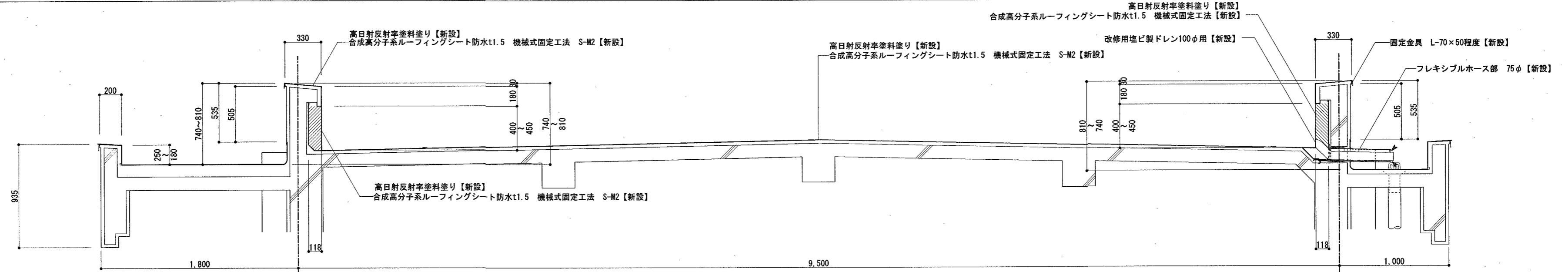


アンテナ台詳細図 S=1/30

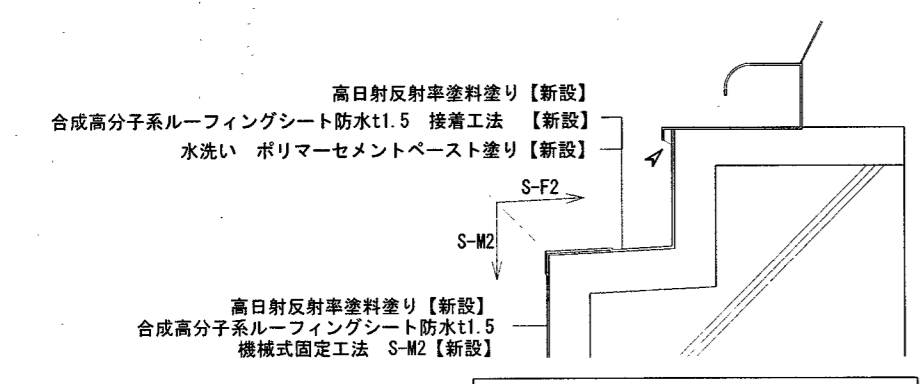
イ: シーリング(MS-2)20×10【撤去】を示す



ドレン部分断面詳細図 S=1/6

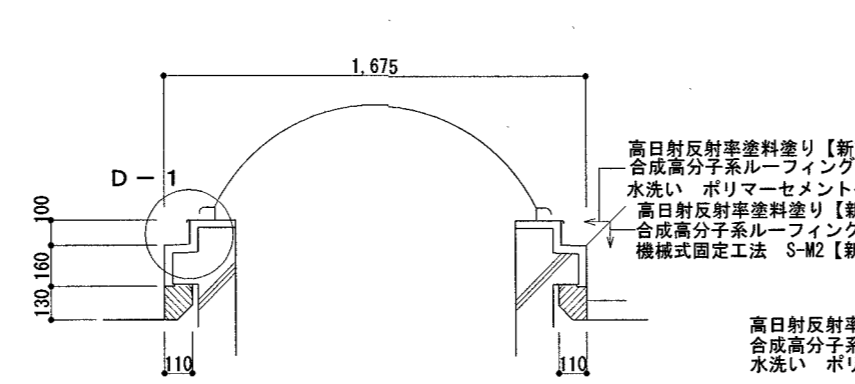


屋上断面詳細図 S=1/30

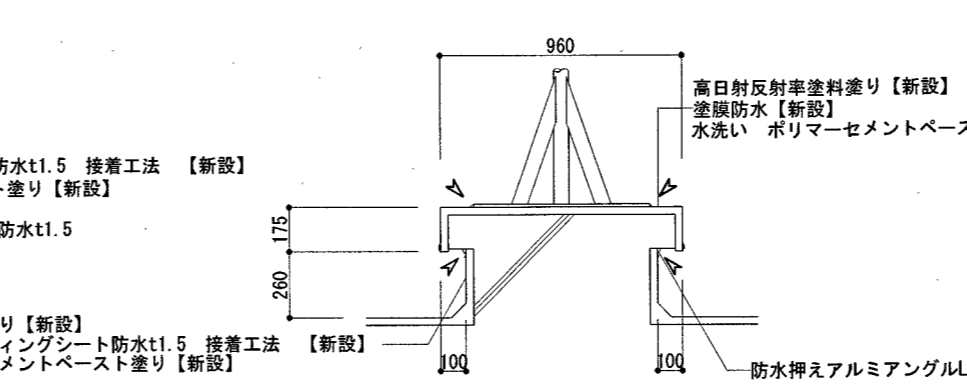


D-1部分詳細図 S=1/6

イ: シーリング(MS-2)20×10【新設】を示す

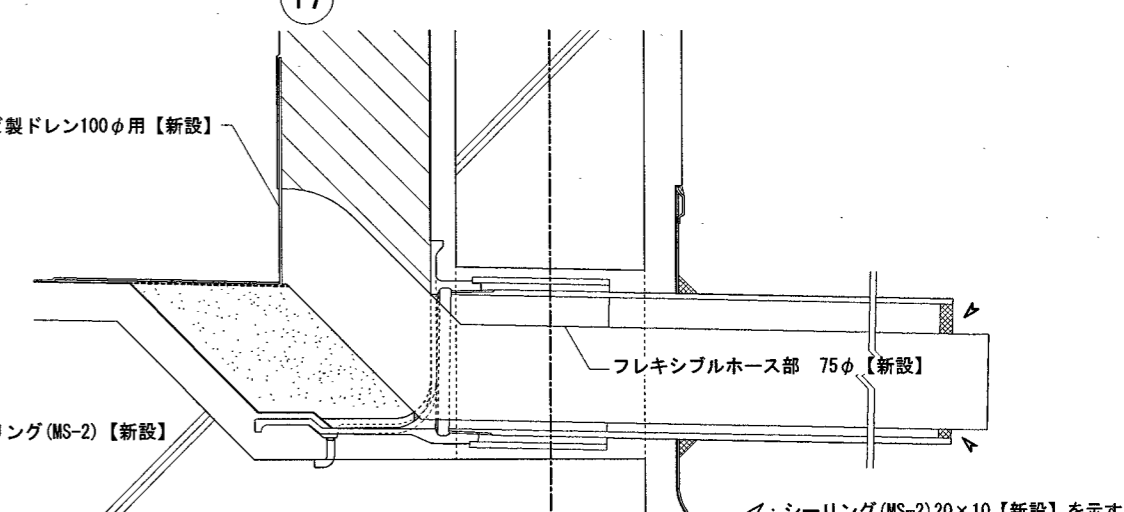


改修トプライト詳細図 S=1/30



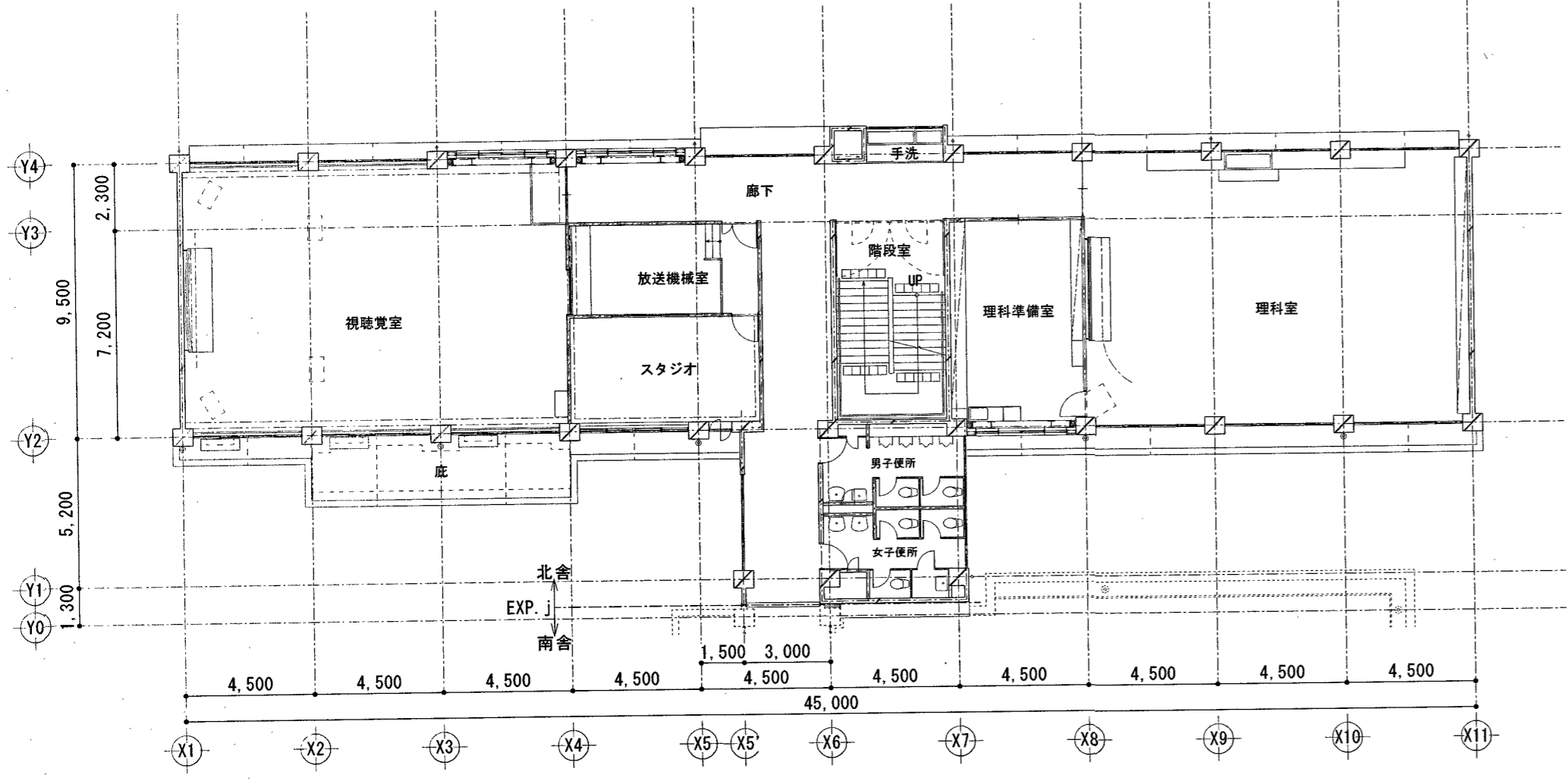
改修アンテナ台詳細図 S=1/30

イ: シーリング(MS-2)20×10【新設】を示す

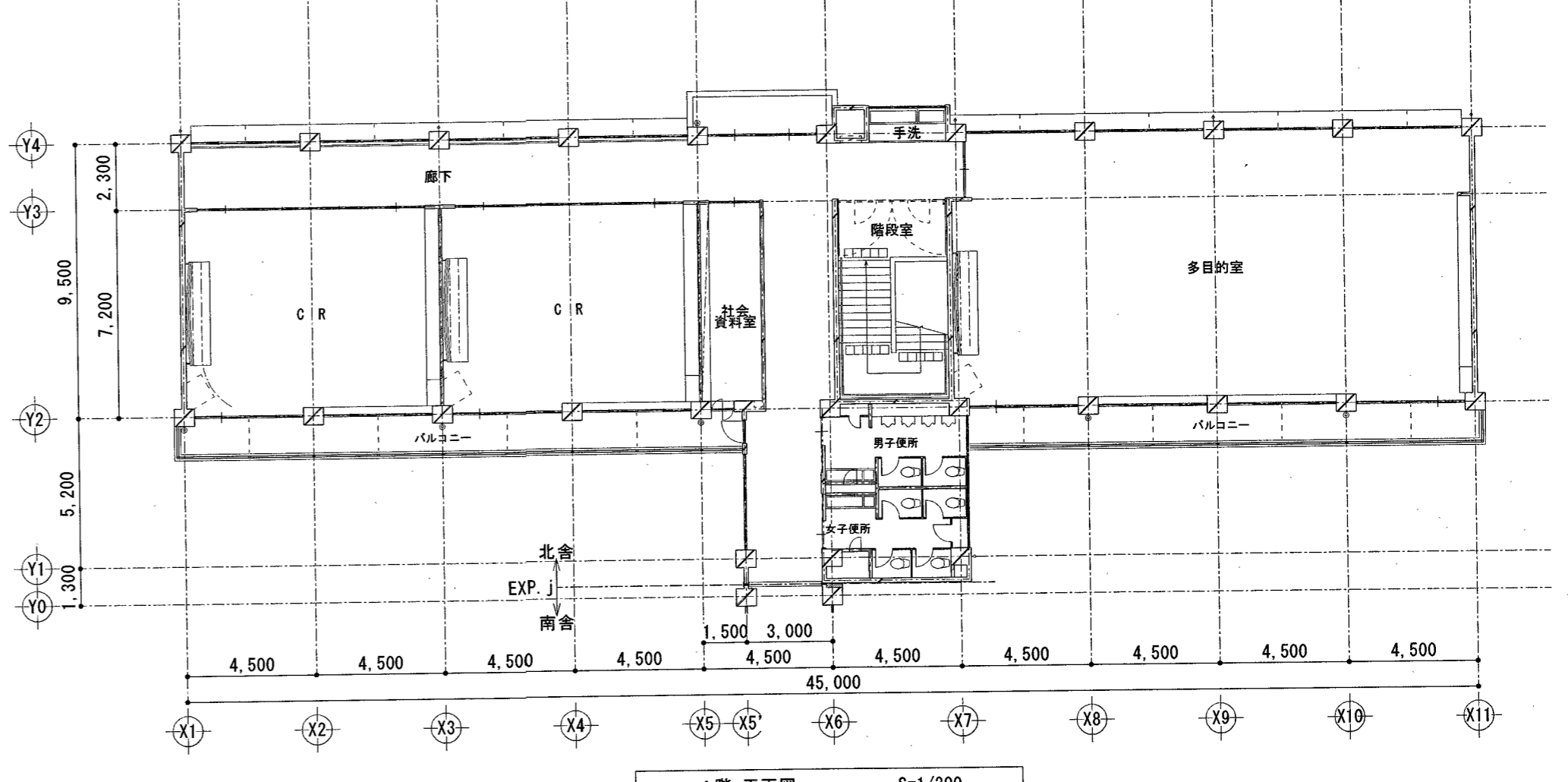


ドレン部分断面詳細図 S=1/6

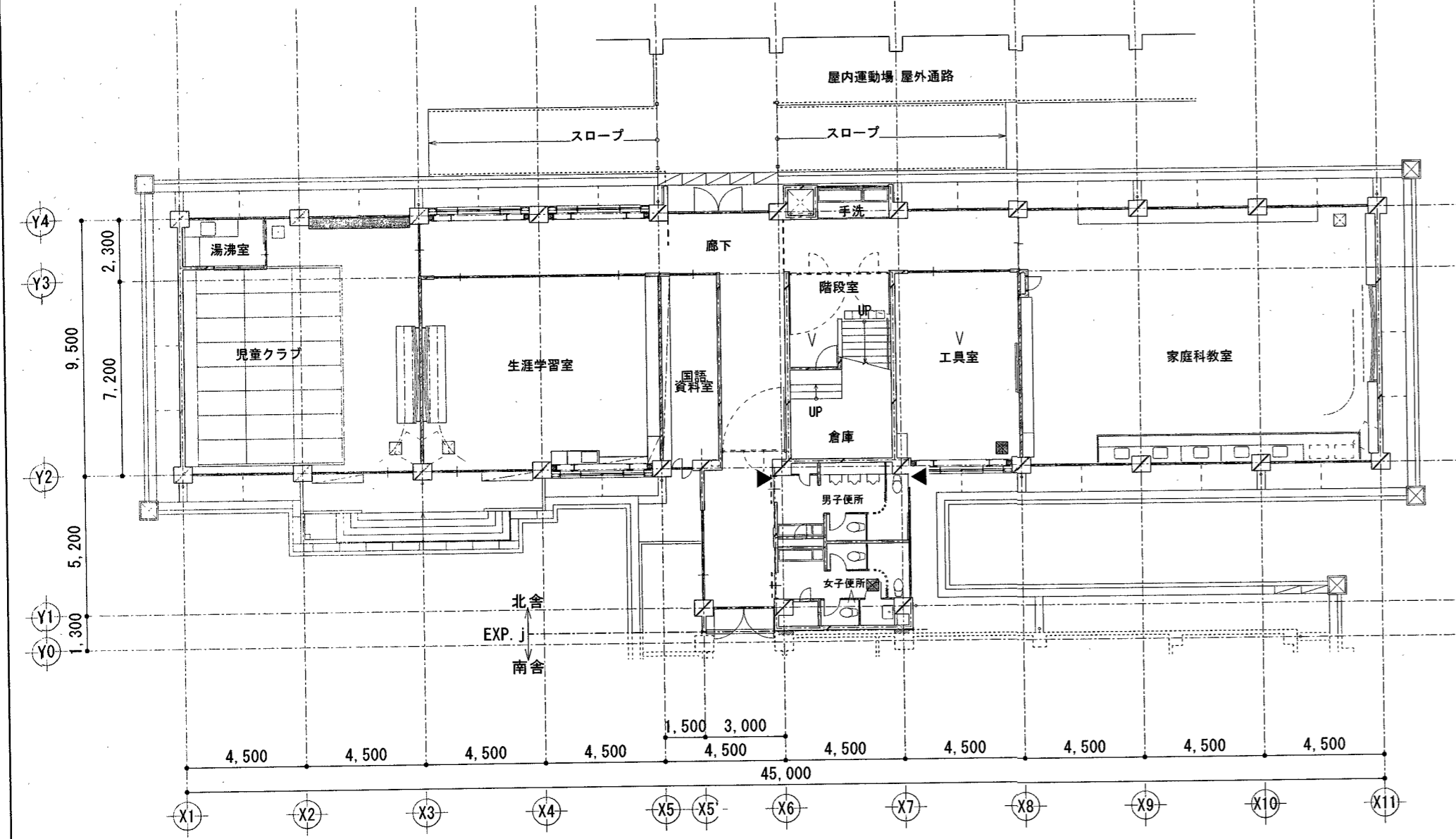
A2→A3縮小71%	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	小高坂小学校北舎防水改修工事	係長	鈴木	課長補佐	世岡	課長	松本	図面番号	A-03
		図面名	屋上断面詳細図、各部詳細図	縮尺	図示	作図	R8年	3月	日		



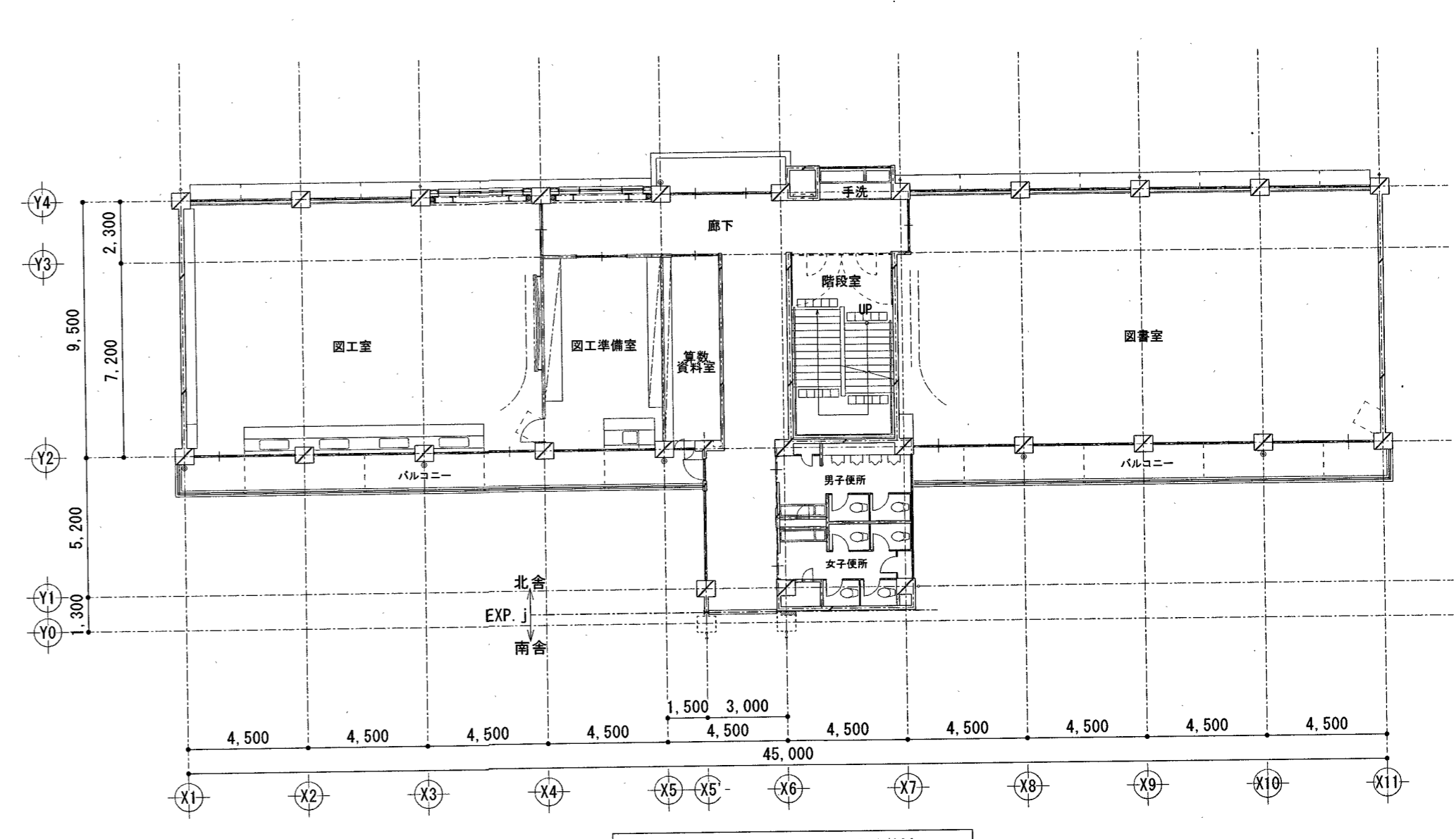
2階 平面図 S=1/200
※改修無し



4階 平面図 S=1/200
※改修無し



1階 平面図 S=1/200
※改修無し



3階 平面図 S=1/200
※改修無し

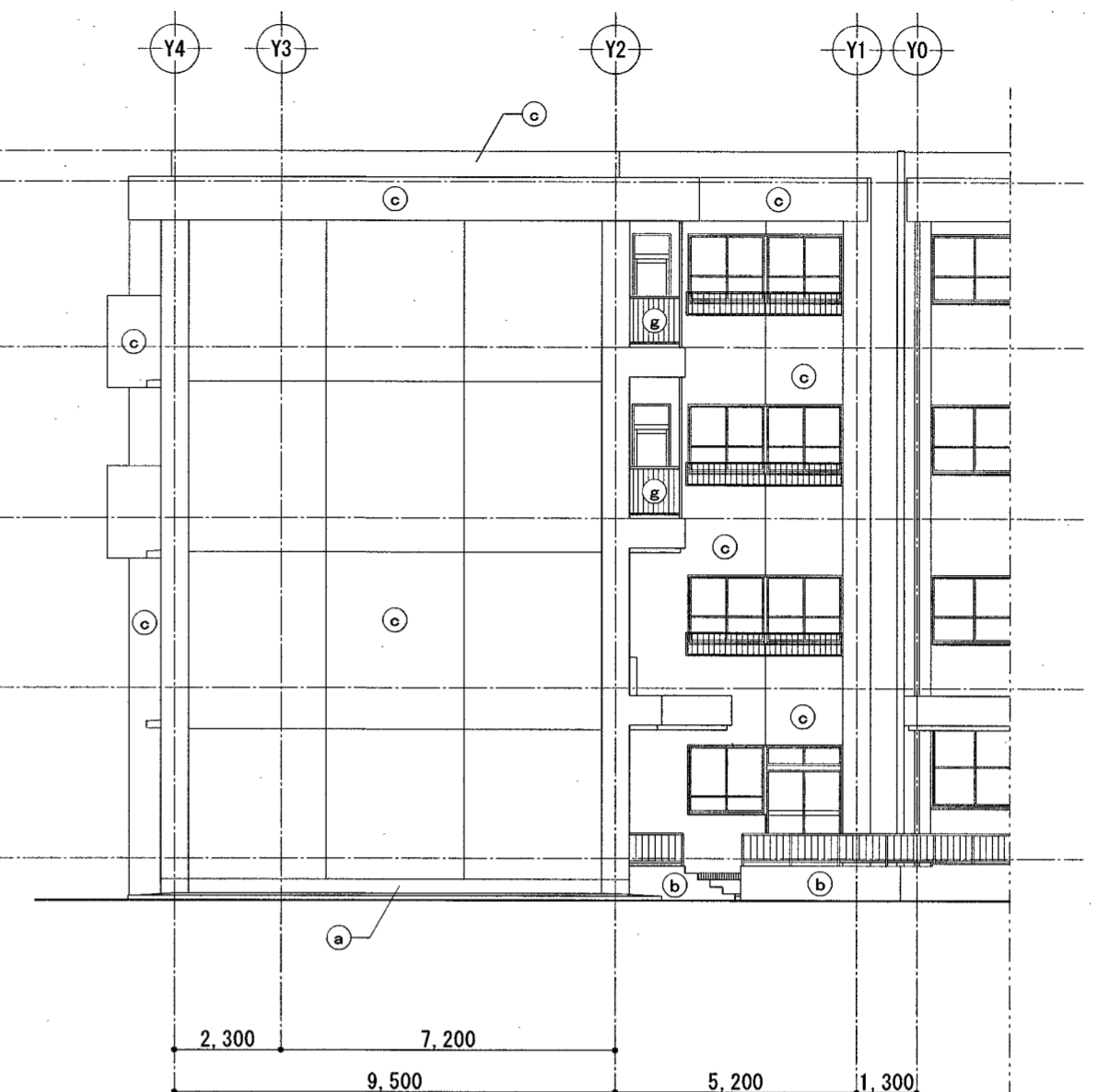
参考図

高知市 都市建設部 公共建築課	
-----------------	--

工事名	小高坂小学校北舎防水改修工事				図面番号	A-04
図面名	【参考図】1~4階 平面図	縮尺	図示	作図	R8年 3月 日	
				係長	課長補佐	課長



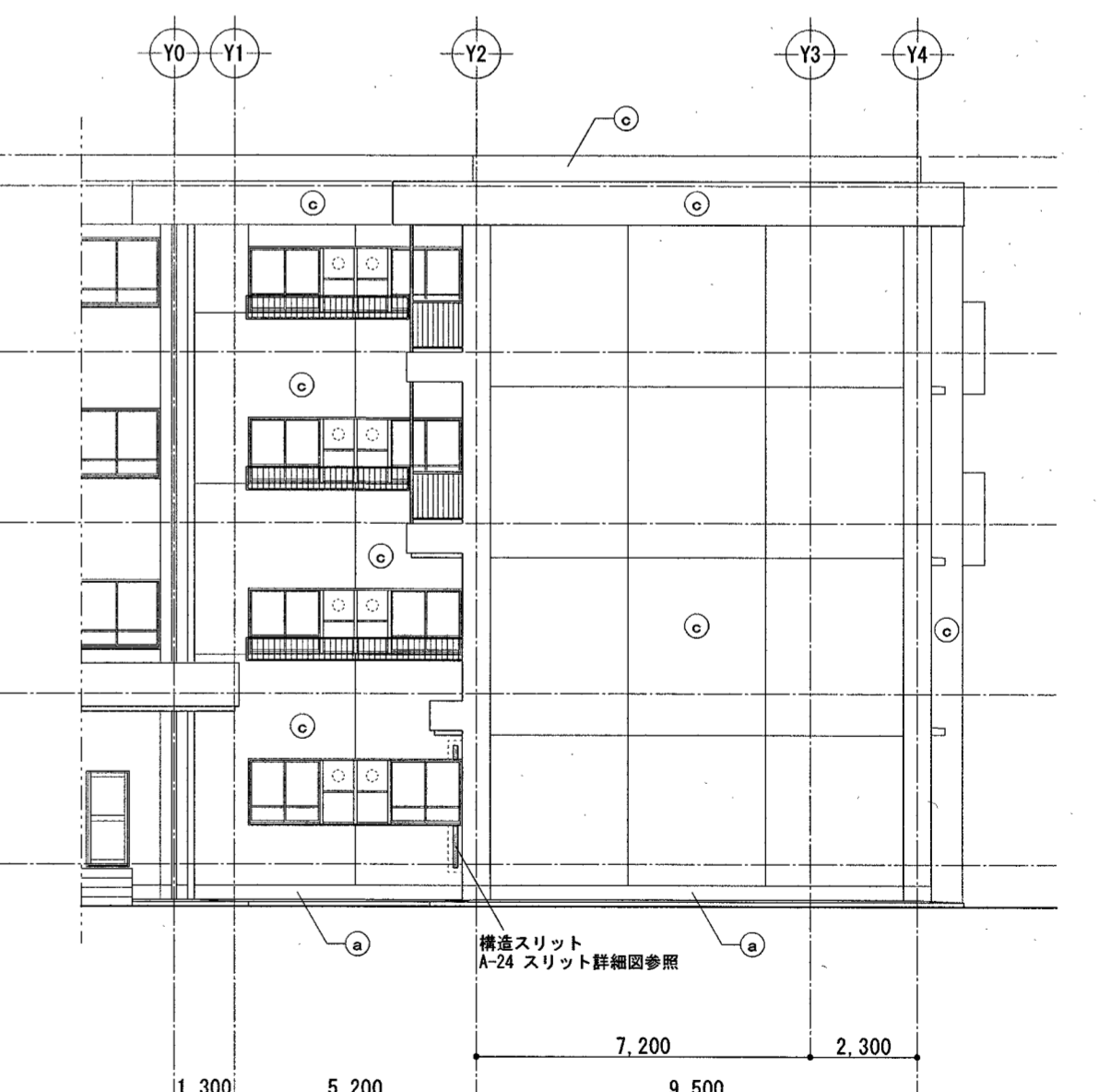
北面 立面図 S=1:150



西面 立面図 S=1:150



南面 立面図 S=1:150



東面 立面図 S=1:150

参考図

外部仕上表(改修後)	(a) モルタル刷毛引き (b) モルタルこて磨き	(c) 複層塗材E吹付 (d) コンクリート打放シ仕上	(e) アルミパネルt=2.0 (f) 堅種: カラーVP100φ SUS摺り金物φ1000	(g) バルコニー用手摺(アルミ製) 転落防止用窓手摺(アルミ製)	▼ 消防隊進入口マーク 200×200×200(赤色反射板)
A2→A3縮小71%	高知市 都市建設部 公共建築課			工事名	係 係長 課長補佐 課長 図面番号
				小高坂小学校北舎防水改修工事	
				図面名	縮尺 図示 作図 R8年 3月 日
				【参考図】立面図	A-05